

教 育 長 事 務 報 告

月 日	行 事 名	場 所
1月18日(水)	教育委員会定例会	市役所本庁舎
	北上市学校給食運営委員会	南部学校給食センター
1月20日(金)	学校建設先進地視察	高田東中学校、 大槌学園
1月25日(水)	北上市総合教育会議	市役所本庁舎
1月26日(木)	北上市議会 第283回 1月臨時会議	市役所本庁舎
1月27日(金)	市史編纂委員会	市役所本庁舎
1月31日(火)	北上市子どもの読書活動推進委員会	生涯学習センター
	教育委員会臨時会	市役所本庁舎
2月1日(水)	中部教育事務所管内人事会議	花巻地区合同庁舎
2月2日(木)	東部地区小学校統合推進委員会	立花地区交流センター
2月6日(月)	新日本婦人の会北上支部 表敬訪問	市役所本庁舎
	コミュニティスクール等連絡協議会	江釣子地区交流センター
2月7日(火)	北上市いじめ問題対策連絡協議会	市役所本庁舎
	岩手県学校教育ICT推進協議会	サンセール盛岡
	県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換	サンセール盛岡
2月10日(金)	北上中学校建設工事設計業務委託公開プロポーザル	市役所本庁舎
2月11日(土)	北上市児童生徒表彰式	さくらホール
2月13日(月)	県算数・数学教育研究大会 表敬訪問	市役所本庁舎
2月15日(水)	教育委員会定例会	市役所本庁舎

2月 教育長事務報告

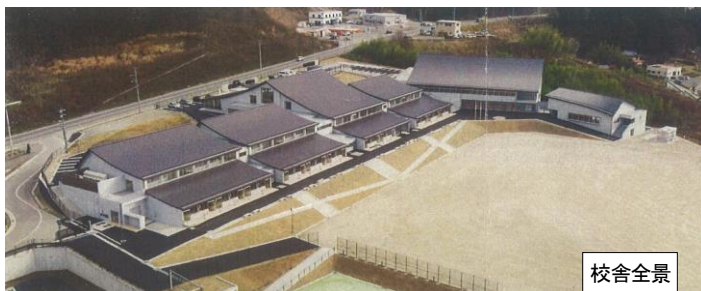
今定例会では、

- 1 1月20日(金) 学校建設先進地視察(高田東中学校・大槌学園)
 - 2 2月7日(火) 県学校教育 ICT 推進協議会(令和4年度第3回)
 - 3 2月7日(火) 県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換(令和4年度第3回)
- と、事務報告にはありませんが、
- 4 各種コンクール・大会・表彰関係
- 以上4件について報告いたします。

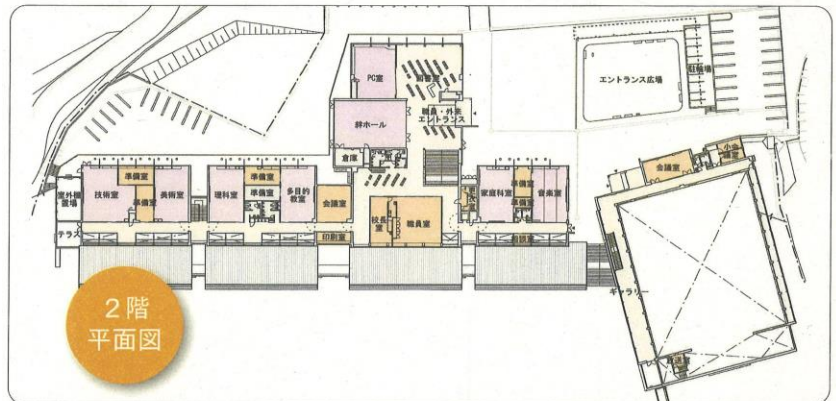
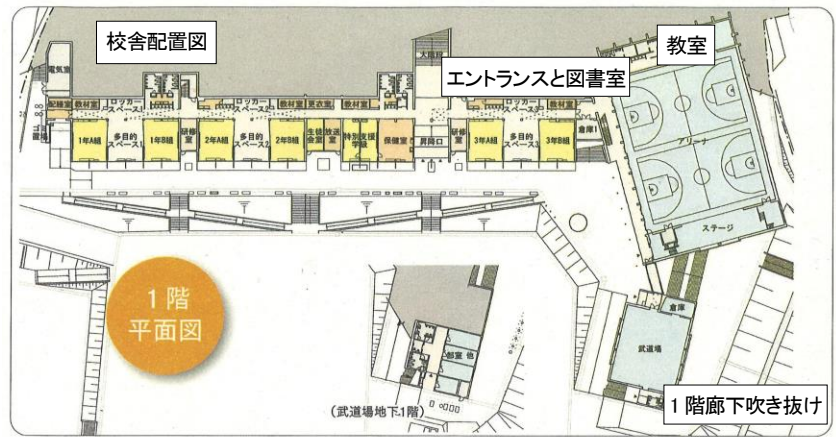
【学校建設先進地視察】

- 1 期 日 令和5年1月20日(金)
- 2 視察校 (1) 高田東中学校(10:00~11:30) (2) 大槌学園(13:30~15:00)
- 3 訪問者
教育長、教育部長、学校教育課長、総務課長ほか 計11名
- 4 内容及び所感

(1) 陸前高田市立高田東中学校は、広田中・小友中・米崎中の3校が統合してできた新設校です。現在の校舎は平成28年10月に完成し、総工費は約32億円で、平成29年1月から供用開始しております。新校舎は、旧小友中と旧米崎中の中間の津波の危険性のない高台に位置しており、校舎のどこからでも広田湾を望むことが出来る配置となっています。



設計の基本コンセプトとしては、①「安心感のある充実した学びの場」、②「人・地域とふれあう場」、③「環境とふれあう場」、④「歴史文化・伝統技術を継承する場」の4点です。①としては、防災機能に配慮しどこからでも避難可能な設計、地域防災拠点としての整備など。②としては、読書に親しめる場として「地域開放型図書室(職員・来客エントランス周辺)」や「多目的スペース」の配置など。③としては、山・海へのアクセス道の整備など。④としては、学



校・地域が併用できる交流空間(図書室・家庭科室・音楽室・多目的室)の整備など。となっており、校舎が斜面に建てられているため景観が良いだけでなく、天井が高くとても明るく、2階廊下から吹き抜けて1階の教室が見下ろせたり、どこからでも避難できるなど、多くのメリットがありました。

またプロポーザル後は、設計者が生徒や教職員・地域住民らと何度もワークショップを開催し要望等を受け止めながら設計進め、プランニングも大きく変化しましたが、前提条件とした「どこからでも海が見える校舎」「木の大屋根で包まれた空間」の2点は変わらなかったとのことでした。

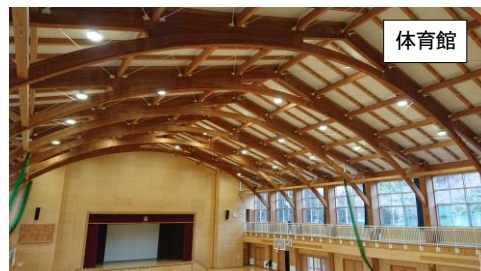
(2) **大槌町立大槌学園**は、震災後4小学校(大槌小、大槌北小、安渡小、赤浜小)と大槌中学校の統合により、平成27年4月に新設された小中一貫教育の義務教育学校です。新校舎への移転は平成28年9月で、総工費は約100億円となっています。

また、平成28年には「学校運営協議会」を設置し県内でもいち早くコミュニティ・スクールを導入した学校でもあります。その活動場所として、体育館入口には「井戸端会議室(地域学校協働本部)」と「PTC(community)A室」があり、CSコーディネーターや保護者・地域の方々が自由に出入りしていました。

義務教育学校とは、小学校・中学校の義務教育を一貫



して行う学校のことであり、大槌学園では1～4年生がホップ期、5～7年生がステップ期、8～9年生がジャンプ期

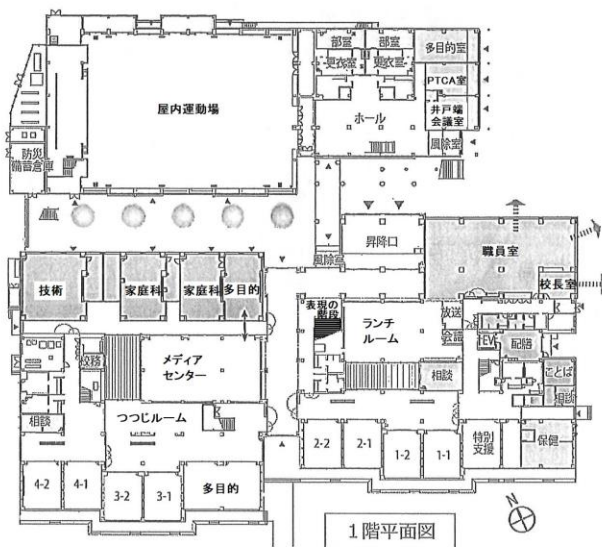
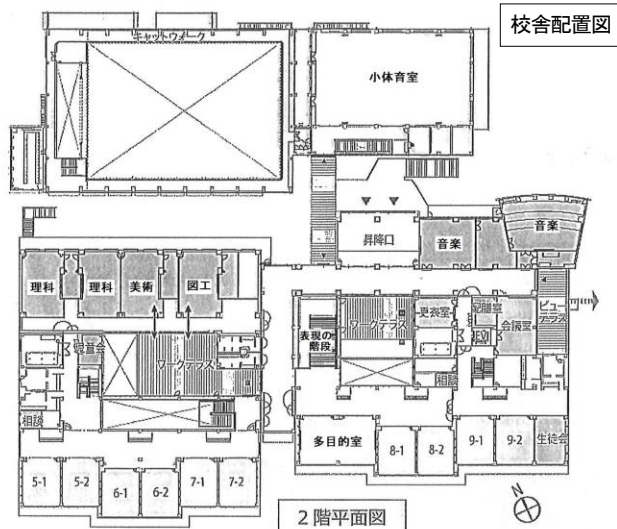


として、9年間を通して教育課程・指導体制を踏まえた一貫教育を行い、「確かな学力の定着」「情緒豊かな心の涵養」を目指し、「教科担任制の導入」「ふるさと科の設置」「縦割り班清掃活動」など子どもの成長を連続的に捉え、能力や個性を伸ばす教育を行っています。

それに合わせ校舎も、「メディアセンター(図書室)」「ランチルーム」などの異学年が触れ合う場所や、「表現の大階段」「成長の壁」「ディスカッションコーナー(つつじルーム)」など様々な学習の場が設けられていました。校舎建築には大断面集成材を至るところに使用し、豊かで暖かな「木育」空間づくりが行われており、柱や梁も太く廊下も広く、体育館はギャラリーを走り抜けることができる(キャットウォーク1周150m)が設けられていました。

小中一貫校の良さの一つとして、概要説明の中で「中1ギャップもなく、中学生が穏やかになる。」との話がありましたが、1年生から9年生の縦割り集団による清掃活動は、ほのぼのとしてとても楽しそうで、このほかにも小中一貫校ならではの良さがあるのだろうと感じた次第です。

(3) まとめ 今回の学校視察は、昨年9月に実施した紫波東学園視察と同様に、北上中学校建設の参考にするために実施いたしました。両校とも1時間半の視察予定でしたが、どちらも大変丁寧に対応していただき約2時間の滞在となりました。ご対応いただいた山田教育長始め陸前高田市教委並びに松橋教育長始め大槌町教委、そして両校の伊東校長・小石学園長始め教職員の皆様には心から感謝を申し上げ報告といたします。今後の北上中学校建設の参考にしたいて考えております。



【県学校教育 ICT 推進協議会】

- 1 日時 令和5年2月7日(火) 13:30～15:00
- 2 場所 サンセール盛岡 1階「大ホール」
- 3 内容

◇議題

- (1) 統合型校務支援システムについて
- (2) ICT 活用状況について
 - ア 全国の ICT 活用状況
 - イ 本県の児童生徒1人1台端末の持ち帰り状況
 - ウ 本県のデジタル教科書導入状況
- (3) GIGA スクール運営支援センターについて
- (4) 情報活用能力の体系表について
- (5) 「学びの改革プロジェクト」の R5 年度の取組(案)について

◇意見交換「ICT の効果的活用に関する当面課題への対応について」

4 所感

議題(1)については、いよいよ来年度から県内統一した統合型校務支援システム導入に向け、プロポーザルによる業者選定が行われます。このシステムの導入については、令和6年4月からは当市を含め12市町村に先行導入され、他市町村も順次導入し令和8年度中に県内すべての市町村に導入される予定となっております。中でも「通知表編集について」は、当局からは「ある程度編集できるものを選びたいが、あまりに編集が可能であれば統一した意味がなくなる。」との回答がありました。

議題(2)については、全国の ICT 活用状況(R3 年度)が示されましたが、「1人1台端末を授業で活用している学校の割合」では、「ほぼ毎日」が本県は小学校 22.7%(47/47)、中学校 30.7%(46/47)となっており、それぞれの全国平均値(小)55.4%、(中)53.6%を大きく下回っていました。また、「週3回以上」を加えても小学校 49.3%(47/47)、中学校 65.4%(44/47)となっており、やはり全国平均値(小)83.1%、(中)79.9%を大きく下回る状況でした。ちなみに当市では「ほぼ毎日」が小学校 6.3%、中学校 33.3%、「週3回以上」を加えると小学校 62.6%、中学校 88.9%となっており、「週3回以上」であればある程度活用されていることが分かります。今後は、回数だけでなく学校・家庭での効果的活用法を検証し実践する必要があると考えております。

意見交換では、「ICT の効果的活用に関する当面課題への対応」について話し合わせ、「活用にむけた教員の意識改革」「ICT を効果的に活用した授業改善」「指標の設定」などの意見が出されました。

【県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換】

- 1 日時 令和5年2月7日(火) 15:00～17:15
- 2 場所 サンセール盛岡1階「大ホール」
- 3 内容

◇各室課説明

各担当から、①いわて就学前教育プログラム、②スクールバス等の安全対策、③60(ロカル)プラスプロジェクトの推進、④学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行、⑤研修履歴の記録の在り方、⑥岩手県教員等育成指標、⑦岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)の推進、⑧第109回全国図書館大会の開催、⑨令和5年度の教育分野の重点施策、⑩令和5年度生徒指導関連事業、⑪教職員の綱紀の保持についてそれぞれ説明がありましたが、その中で主なものについてご報告いたします。

①いわて就学前教育プログラムでは、「いわて幼児教育センター」の幼児教育専門員訪問支援事業について、幼稚園・保育所等を訪問(R5.1月現在78件)し、保育環境や子どもへのかかわりについて具体的にアドバイスをしている。②スクールバス等の安全対策では、R5.4.1から「学校保健安全法施行規則」の一部改正に伴い、「児童生徒の乗降時に点呼等により所在を確認すること」「通学用自動車にブザー等の児童生徒見落とし防止装置を装備すること」の2点が義務付けられる。但し、防止装置についてはR6.3.31までは代替的措置で差支えない。④学校部活動では、地域クラブ活動への移行については様々な課題があり、当局としては来年度、国のガイドラインに基づき「本県における部活動の在り方に関する方針」の改訂や「地域移行に係る手引き」を作成し、市町村教委等が取り組む地域クラブ活動への移行を支援する。⑦働き方改革プランでは、県教委からのメール処理について、教育事務所から直接学校へ通知し、派遣指導主事の業務の軽減を図る。市町村教委にはCCで共有し、学校からの問い合わせについては市町村教委を通じて行う。⑩生徒指導関連事業では、来年度「エリア型カウンセラー」「エリア型スクールソーシャルワーカー」を増員する予定。教育支援センター未設置の市町村(12)には設置に要する経費を支援し、R8年度にはすべての市町村に設置(目標値33)する。

◇意見交換「令和5年度の教育分野の重点施策について」

部活動の地域移行については、「R5～7年度の3年間は改革推進期間となり、かなりトーンダウンしたと感じる。」「地域の実情に合わせて実現ということは、市町村ペースで進めてよいということか。」「学校現場の学校部活動と地域クラブ活動の認識が不十分。」「地域クラブ活動の原則1日休養日の徹底は難しいのでは。」など、部活動の地域移行についての意見・質問が多く出されました。

4 所感

上記のほかに、来年度は11月16日(木)・17日(金)に盛岡市(マリオス、アイーナ)で、「第109回全国図書館大会」が4年ぶりに会場開催(過去3年はオンライン)されるので、各学校・市町村教委等の協力をお願いしたいとのことでした。

また、冒頭の佐藤教育長の挨拶で、「教職員の働き方改革」については、県全体で実現す

るためにも各市町村でも主体的に取り組みを進めてもらい、まだ「働き方改革プラン」を策定していない市町村(11)には、是非早期に策定してほしいとのことでした。「教職員の綱紀の保持」では、今年度も教職員への懲戒処分が後を絶たない状況であり、「研修の実施」「日頃からの対話」「適切な指導」「風通しの良い職場づくり」「不祥事を発生させない職場風土の醸成」など、不祥事の未然防止に、これまで以上に取り組んでほしいとのことでした。当市においても、校長会議等で不祥事未然防止の取組について、再度徹底を呼び掛ける必要があると感じた次第です。

なお意見交換の後は、県教委・教育長との懇親会が3年ぶりに開催され、貴重な情報交換の機会となりました。

【各種コンクール・大会・表彰関係】

- 1 第74回明るい選挙啓発ポスターコンクール
◇小学校 <優秀賞> 笹井美桜里(江釣子小4) <佳作> 及川結菜(江釣子小5)
◇中学校 <優秀賞> 三浦くるみ(上野中1)、金澤姫愛(同3) <佳作> 中島和奏(飯豊中3)
◇高校 <優秀賞> 加藤桃葉(専大北上高1)、高橋零月(同2)
- 2 第72回社会を明るくする運動作文コンテスト
<県教育長賞> 伊藤早絆(和賀東小6)
- 3 令和4年度こども音楽コンクール(第70回)[1/22 音源審査]
◇小学校・管楽合奏部門 <第3位> 黒沢尻北小学校吹奏楽部
- 4 第41回全国中学生人権作文コンテスト
<奨励賞> 吉田怜那(南中3)
- 5 令和4年度第2回はばたき賞表彰式[2/8]
<奨励賞> 小原結葵(上野中3)、菅野航太(黒工高3)、黒北小合唱部、上野中吹奏楽部
- 6 第50回東北アンサンブルコンテスト[2/12 山形市]
<金賞> 上野中木管八重奏、上野中金管八重奏 ※ゴシック全国大会出場[3/19 浜松市]

以上で事務報告を終わります。